

トラまち TOPICS 2024 3月発行

一般財団法人 世田谷トラストまちづくりは

「ひと・まち・自然」が共生する世田谷

の実現を進めています。

財団の取り組みや成果など、
2023年7～12月の話題をご紹介します



学び、育てて、「いただきます！」

里山農園 里山農園の定例活動参加者



財団では、農の魅力を多くの方と共有し、人が繋がる農業公園づくりに取り組んでいます。

■次大夫堀公園内里山農園

定例活動で参加者と一緒に育てた無肥料無農薬のジャガイモを2023年7月、12月に収穫し、「たまがわ子ども食堂(鎌田4)」へ提供しました。この食堂では月1回、カレーライスをテイクアウトも含め約300食が提供されています。

■瀬田農業公園(分園)

通称「せたのう」では、農の体験イベントを実施しています。2023年からは同園で今後、区民ボランティアとなる方向への「野菜づくり講習会2年目コース」を新たに開始しました。

講習会では、1年間ほぼ毎週同園で畑の管理を学びながら作業に取り組み、様々な野菜を育て、豊作となった収穫物は区内延べ15カ所もの子ども食堂など福祉活動団体に提供いたしました。講習生が猛暑の中で管理や収穫に汗を流してくれた、その姿や気持ちが伝わったのか子ども食堂からお礼のお便りや、食堂へのお誘いの便りが届きました。



焼き芋(紅はるか)「おでかけひろばすぶーん」さんより



収穫したジャガイモ(ニシユタカ)

せたのう



講習生は2024年4月から「せたのうボランティア」として活動を始めます。

野菜たっぷりカレー「おでかけひろばまーぶる」さんより



瀬田農業公園(分園)
通称「せたのう」
〔瀬田5-11〕

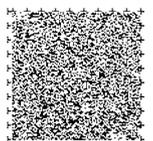
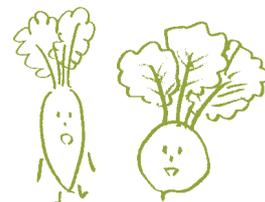


詳細、案内図等は各QRコードからどうぞ!

次大夫堀公園内
里山農園※
(喜多見5-5)



※活動日：毎月第4水曜日
9時30分～12時
どなたでも参加できます!



身近な自然を知る

世田谷の環境からの学びを大切にしています



ひろがる“雨庭”の取り組み

3年目を迎える「世田谷グリーンインフラ学校～自分でもできる雨庭づくり※」は49名もの応募があり、抽選の結果25名が参加しました。

当財団のビジターセンターを会場に、雨庭をつくる演習と自宅等でもできる雨庭のプランを参加者が思い思いに練りあげました。このほか、第1回の学校で演習フィールドとなった区立代田富士356(みごろ)広場では雨庭に植えた宿根草やその維持管理手法の検証、地域共生のいえ「ふくふくのいえ」では個人宅での雨庭のモデルケースづくりを今年度いっぱい取り組みます。2023年8月には、東急田園都市線「駒沢大学駅」前で暫定利用する地域循環型KOMAZAWA MOAI FARMにて「雨庭相談会」を実施しました。来年度は、これまでの実践を活かした相談窓口を試行予定です。



▲KOMAZAWA MOAI FARMでの雨庭相談会の様子(8月26日実施)



▲雨庭のモデル

※区から委託を受け、当財団が実施しています。

「みつ池体験教室&ナラ枯れを契機にまちの木のこれからを考える勉強会」について



▲体験教室にて萌芽更新について学ぶ様子

成城みつ池緑地は、生物多様性が豊かな里山です。街なかの貴重な里山を次代へ引き継ぐため、区、財団、成城みつ池を育てる会が協働で保全しています。

2023年12月に開催された「晩秋のみつ池体験教室」では、春植物の生育環境を整える落ち葉かき体験のほか、若木を育て、森の健康を保つ樹木の萌芽更新※作業についても紹介しました。また、3年前から区内で発生したナラ枯れ被害(ブナ科の樹木が枯れる現象)は、大きく育った樹木に大きな被害をもたらしました。現在、街なかの樹木との関わり方を見直そうと、区、財団、緑地保全ボランティアを中心に、取り組み事例の共有や勉強会などを行っています。豊かな里山づくりには多くの仲間が必要です。皆さんもぜひ体験教室へご参加ください。

※萌芽更新…古くから雑木林の管理の一環として行われてきた手法。伐採した後の切り株から出た枝を育て、樹木の若返りを図る。



▲12月の勉強会では3年間の評価と今後に向けた意見交換会を実施

財団のイベント情報はコチラ▶



ぜひ、世田谷のみどり保全&まちづくり活動のサポーターになってください!



トラストまちづくり
会員募集中です

世田谷の「ひと・まち・自然」を支える応援団に、あなたもぜひ!
“トラストまちづくり会員”や“ボランティア”として、また、イベントに参加してみるなど、ライフスタイルに合ったご支援、お願いいたします!

詳しくは
こちらから
ご覧ください



地域のコミュニティを広げ、共に助け合う

ひとの力を結んで広げる、地域共生のまちづくりを進めています

まちづくり交流会

区民の主体的なまちづくり活動を支援する「まちづくりファンド」では、助成金の交付だけでなく、団体間のネットワーク創出を目的とした「まちづくり交流会」を実施しています。

今年度も助成を受けているほぼ全ての団体(32団体)が一室に会し、活動に対する意見交換や新しい連携相手を見つける機会となりました。今後も、皆様の創意工夫あふれる活動をより一層支援していきます。



▲異なる団体でグループをつくり意見交換中

「世田谷のまちと暮らしのチカラ まちづくりの歩み50年」

世田谷区は、区民自らが行う地域活動や、行政との協働によるまちづくりに先進的に取り組んできた自治体です。

1月31日から4月21日まで開催される展覧会「世田谷のまちと暮らしのチカラ まちづくりの歩み50年」(三軒茶屋キャロットタワー 生活工房 3・4F)では、行政の取り組み、区民の取り組みなど様々な展示と関連企画から世田谷のまちづくりの歩みを振り返ることができます。

実行委員会形式で準備を進め、貴重な資料やアイテムを集めるにあたって、これまでまちづくり活動に携わってきた方々から様々なお話を伺うことができました。

地域の拠点や都市の模型、50年の歴史をまとめた年表など、様々な角度から区民の想いにふれることができます。ぜひ、会場にお越しください。



▲約200点に及ぶ展示品をぜひご覧ください

詳しくはこちらどうぞ!
(生活工房HP)▶



いただいた支援の報告

2023年2月より公開しました弦巻四丁目松の木鈴木市民緑地へ、皆様からいただいたトラスト基金の一部(4,620,769円)を、整備費用として活用させていただきました。また、2024年2月公開の経堂一丁目仙人掌市民緑地へも、基金の一部(4,483,710円)を大切に使用させていただきます。

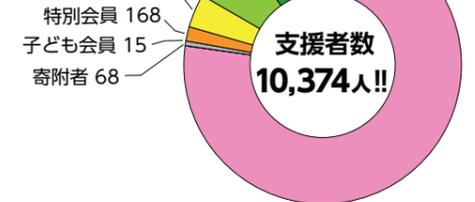
トラストまちづくり会費・寄附額 (2023年1~12月)

	①トラスト基金	②まちづくり基金
会費	1,944,500円	288,500円
寄附	1,707,728円	26,000円
合計	3,966,728円	

会員・寄附者の方の意思で①・②に振分けております。

ご支援をいただき、
ありがとうございます!

個人会員 1,028
家族会員 722
法人会員 390
特別会員 168
子ども会員 15
寄附者 68

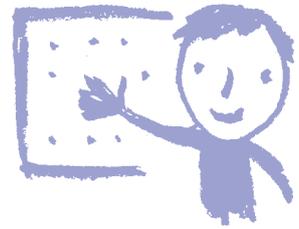


今後とも
よろしくお願いいたします!



ささ
支える

安心・安全のまちづくり
居住支援や公共施設の保全に取り組んでいます



「世田谷区居住支援協議会セミナー」にて 『お部屋探しサポートでの対応事例』を紹介

世田谷区居住支援協議会とは、住宅確保要配慮者(高齢者、障害者等)の民間賃貸住宅への円滑な入居の促進をはかるための組織です。

その協議会主催セミナーにて、2023年10月に不動産オーナーや不動産団体などに向け、財団の「住まいサポートセンター」で行っている『お部屋探しサポートでの対応事例』を紹介してきました。

住み慣れた地域で誰もが住み続けることができるよう、関係機関や支援団体と連携し、今後も居住支援への取り組みを進めていきます。



▲世田谷区居住支援協議会セミナーでの講演の様子

「お部屋探しサポート」について、
詳しくはこちらどうぞ▶



使いやすい公共施設のために ～身近な修繕の報告～



財団では、区の指示のもと区公共施設の緊急性の高い修繕なども行っています。例えば、区立の小・中学校のトイレを和式から洋式に変えたり、エアコンを取り替えたり、照明をエコなLED照明に変えたりしました。

また、区内の中小事業者がより高い技術を持って工事できるよう講習会も開催しました。

これからも、使いやすい公共施設となるよう、工事に取り組んでいきます。



本誌についてのご意見、ご感想をお聞かせください!

WEBアンケートにご回答いただいた方に、

もれなく「自湧時間(2006年発行・現在非売品)」をプレゼント!

より魅力のある情報を発信するため、ぜひご協力をお願いします!



回答期限：2024年5月7日(火)

WEBアンケートは
こちらから



一般財団法人 世田谷トラストまちづくり
SETAGAYA TRUST & COMMUNITY DESIGN

2024年3月発行
〒156-0043 世田谷区松原6-3-5
Tel 03-6379-4300(代表)
Fax 03-6379-4233



SNSで、イベントの様子や、
最新情報が見られます!



Facebook



X(Twitter)



Instagram

